

シリーズ 景観 No.140

第5回静岡県景観賞 優秀賞 美しいしずおか景観推進協議会賞
公共施設部門 「かなみ仏の里美術館」



かなみ仏の里美術館外観

函南町桑原地区では1,000年以上にわたり、国指定重要文化財の阿弥陀三尊像など24体の仏像群が、里人の厚い信仰心により守り伝えられてきました。

かなみ仏の里美術館は、これらの仏像群が函南町に寄付されたことを契機に、その保存継承と展示公開のため、平成24年4月に開館しました。

建物は、仏像群が地区の守護仏として人々の心の拠り所であった精神性を念頭に位置づけ、人々が集う建物といった意味をも持った「堂」としての佇まいを継承しています。また、特徴のある方形屋根は、美術館が新たな地域の文化的活動・観光の拠点となることを象徴したものです。

美術館からは、かつて仏像群を安置していた桑原薬師堂や周辺の自然豊かな景観が展望できるよう配慮されており、周囲の里山の景観にも調和しています。



庭園

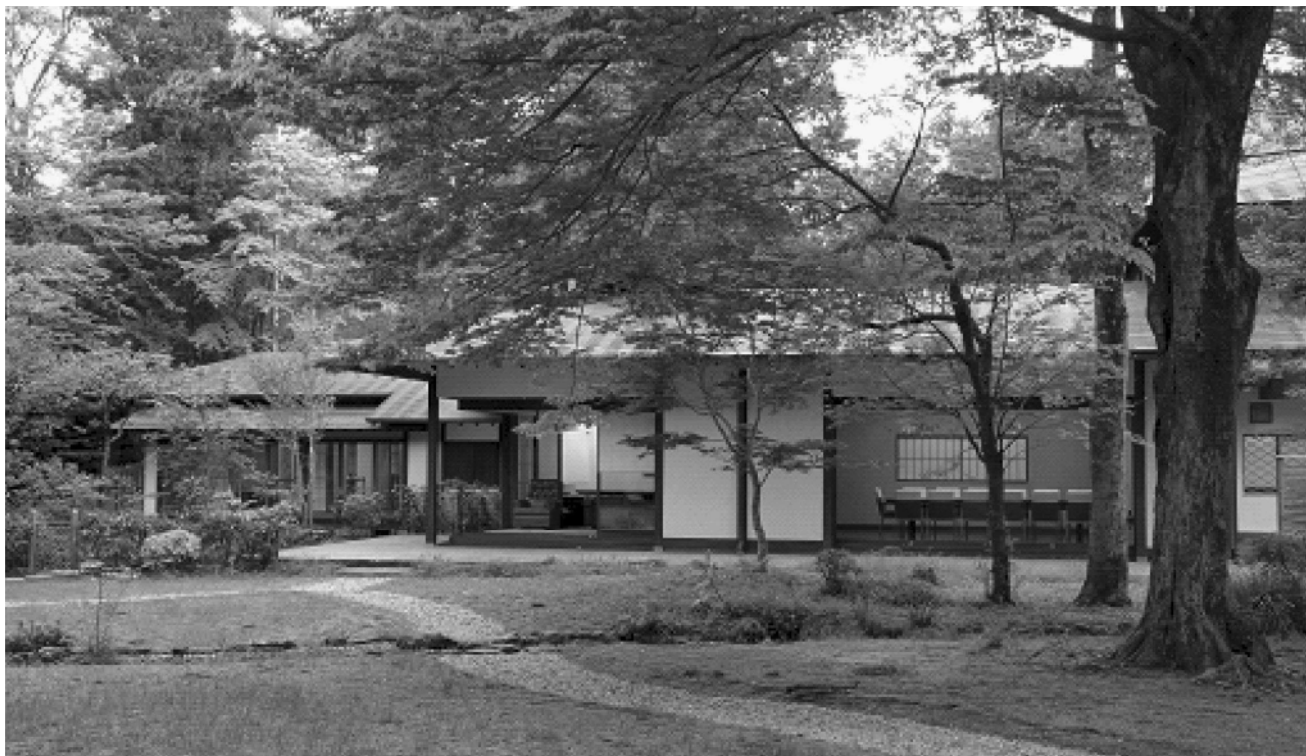


美しいしずおか景観推進協議会発行
「第5回静岡県景観賞より」

■アクセス：東名高速道路沼津ICより車で40分
■所在地：函南町

シリーズ 景観 No.141

第5回静岡県景観賞 優秀賞 美しいしずおか景観推進協議会賞
民間施設部門 「東山旧岸邸」



東山旧岸邸

東山旧岸邸は、第56・57代内閣総理大臣を務めた岸信介氏の私邸として昭和44年に建てられました。

岸氏は昭和45年から昭和62年まで、晩年の17年間を御殿場市で過ごされました。同私邸は、平成15年に御殿場市に寄贈され、平成21年度から一般に公開されています。

建物は、近代数奇屋建築で有名な建築家吉田五十八（よしだいそや）氏が設計しました。伝統的な数奇屋建築の美と、現代的な住まいとしての機能の両立を目指したこの邸宅は、氏の建築美学の到達点の一つといえます。

庭園は、小川の流れる和風の庭で、ここで多くの要人や海外からの賓客をもてなしました。紅葉やアジサイなど四季折々の自然の移ろいを感じる庭園と美しい建物は訪れる人に安らぎを与えています。

建築家吉田五十八氏による代表的名建築に緑豊かな庭の調和がとれており、建物や庭の管理も適切に行われている点が評価されました。



居間



階段

案内図



- アクセス：東名高速道路御殿場ICより車で5分
- 所在地：御殿場市
- 電話番号：0550-83-0747